



The Analogy of the Digital



www.bmc-audio.com



B.M.C.はオーナーであり製品開発の最高責任者である Mr. Carlos Candeias が 2009 年に興したドイツの新進ハイエンドオーディオブランド。1986 年からスタートしたオーディオ開発の歴史の中で生まれた斬新かつ本質を鋭く捉えたコンセプトを具現化しています。

そこには、画期的増幅回路方式、LEF(ロード・エフェクト・フリー)をはじめ、インテリジェント・ゲイン・マネージメント(DIGM)、カレント・インジェクション(CI)などの特異なアナログ技術と、DAC インターフェースを革新する Superlink などのデジタル技術が有機的に機能しています。

そしてまた、時代の変化にも追随可能なモジュラー構成による機構デザインを取り入れるなど、まさにハイエンドレベルでありながら、しかし、その価格は極めてリーズナブルという、優れたオーディオ機器を厳選してラインナップしています。

It is quite sufficient to possess the right technology.





BMC Phono MCCI

クリスタルクリアサウンド、低被ノイズ高 S/N、ハイエンド・アブソリュートパーフェクション
コンプリート・シンメトリック・MC フォノプリアンプ

・CI(Curren Injection)バランス電流入力と LEF(Load Effect Free)クラス A 出力
カレント・バランス駆動、そしてデュアルモノ・モジュール設計のユニークなフォノプリアンプ
BMC PHONO MCCI は真のバランス、NF フリー、パッシブ RIAA を主とする回路構成に加えて、BMC 独自の CI(Curren Injection)電流入カステージ、LEF(Load Effect Free)クラス A 出力を備え MC カートリッジの特質を最大限に引き出す MC フォノプリアンプです。

フォノカートリッジは、元来、その電氣的回路仕様は、“バランス”であることを身上としています。そして、低インピーダンスの MC カートリッジは MM タイプに比べてほぼ十分の一度の低出力電圧ながら、その電流出力は約十倍もの大きな電流源として働きます。

BMC PHONO MCCI は、そうした MC カートリッジの特性を最大限引き出すため、電流入力による完全バランス接続を可能とし、外部ノイズの影響を極限まで排除すると同時にエネルギー感に満ちたかつてない高 S/N と高い解像度を実現します。



B.M.C. characteristics

BMC Phono MCCI Balanced Moving-Coil Phono-Amplifier



CI(Curren Injection)バランス電流入力/増幅電流源としての特性をもつ MC カートリッジに対して、他のほとんどすべてのフォノアンプは高インピーダンスの電圧入力を受けています。それは、せっかくの高出力電流のエネルギーを取り出せないばかりか、低出力電圧をより増大させるために要する増幅回路での信号純度の低下と S/N の悪化を招きます。

BMC PHONO MCCI は、そうした電圧入力のデメリットを抑え、MC カートリッジの電流源としてのメリットを最大限に発揮させ、そのエネルギーを隈なく取り出し高い純度で送り出すために、低インピーダンスの CI(Curren Injection)バランス電流入力/増幅回路を搭載しています。トランジスタ素子本来の能力である電流増幅という優位性が最大かつ有機的にここで機能しています。

RIAA 回路

BMC のすべてのアナログアンプ設計は、NF 排除をポリシーとしています。従って、RIAA 回路には当然オペアンプなど利用した回路ではなくパッシブ設計となっています。しか

も、RIAA の特性そのものは、ノイマンのカッティングマシンの Quasi スタンドアードを忠実に再現するポジションも持たせています。

LEF 出力回路

出力段は、LEF(Load Effect Free)クラス A 回路で構成。それは、負荷に直接繋がる最終出力段を一種のカスコード接続に近似のものとして、増幅された音楽信号のスウィングが負荷から受けるさまざまな電気的影響を被らない様、フリーとする巧みな構成です。しかもそれは NF を不要のものとして低歪率を達成します。

また、その出力はBMC DAC1 プリ入力に接続することで、電流駆動となり、さらにBMC S1 などのCI入力にも電流のまま伝送されるのです。

BMC PHONO MCCI 主な仕様

- 周波数特性: 20Hz - 20kHz ± 0.25 dB
- 入力インピーダンス: < 3
- 出力インピーダンス: 100
- 出力電圧: 8.4Vrms(最大)
- THD@1kHz, 4Vrms: 0.025%
- THD@1kHz, 2Vrms: 0.007%
- S/N: >80B(A)
- 電源/消費電力: 100VAC/18-20W
- 最大外形寸法: 435Wx91Hx350D(mm)
- 重量: 8kg





BD1.1 CD Transport / BDCD1.1 CD Player

その抜群のビット・トラッカビリティと Superlink が、デジタルを限りなくアナログに還元する
ベルトドライブ・CDドライブ搭載トランスポート/プレーヤー

・最新ベルトドライブメカニズム

最高級のアナログレコードプレーヤーがベルトドライブであるように、CDの盤面に刻まれたデジタルの音楽信号をピックアップするCDドライブメカニズムも、ベルトドライブによるスピンドル駆動がそのスムーズさと安定性をもたらします。

そしてその聴感上の優秀さは、計測上の精度を遥かに超えた微細な領域であったとしても、ドライブのスムーズネスがメカをコントロールするサーボ系への負担を極めて低減させることで総体品位を向上させるという側面にあることは想像に難くありません。

そうしたベルトドライブの潜在的な能力をさらにブラッシュアップすると同時に、メカを取り囲むエレクトロニクス系に徹底した改良を施しています。

・Superlink 搭載

デジタルインターフェースには、通常の S/PDIF 4 系統に加えて、データと三つのクロックの分離伝送によって最短距離で DAC1 との接続を可能とし、ジッターの根絶を図る Superlink を装備。

CDによるデジタル音源は、もはやデジタルの概念を根底から覆し、アナログの温もりとエネルギー的な音楽を復活させ、胸に迫る臨場感を醸し出します。

・DAC モジュール(BDCD1.1 に標準装備。BD1.1 ではオプション)

BMC の誇る CI(Current Injection)電流駆動テクノロジーと LEF(Load Effect Free)出力を搭載。負荷の影響を皆無とした比類なきドライブビリティを実現しています。

写真のスタビライザーは実物と異なります。

左手のアナログ出力(DAC 出力)は BDCD1.1 に標準装備(BD1.1 ではオプション)です。



BMC CD-Player / Transport

Superlink &
SPDIF Interfaces



スムーズさと安定性に優れた改良型ベルトドライブ CD ドライブメカを搭載

- ・スピンドルと駆動モーターをベルトドライブにより分離することでモーター振動をシャットアウト。
- ・アナログターンテーブルなみの大型特製ベアリング・スピンドルを搭載。50 ミクロン精度の特殊ベアリングの軸受けにはハイテクファイバー樹脂を採用し、極めて静粛な回転性能と耐久性を実現。
- ・精密スタビライザーによって CD 盤面の振動と共振を抑え、回転安定性を大幅に向上。
- ・アルミブロック加工重量級メカベース・シャーシーを採用。
- ・レーザーピックアップのフォーカス/位相精度の改善により、トラッキング性能を飛躍的に高めています。

Superlink と S/PDIF、二種類のインターフェースを搭載

- ・通常の DAC に接続することのできる S/PDIF 形式のデジタル出力を 4 系統装備。

(BNC-COAX,RCA-COAX,AES/EBU,Toslink)

- ・さらに、BMC が 90 年代後半に実用化した 4 本のデジタルケーブルで DAC と接続する Superlink インターフェースを装備。

S/PDIF が一本のケーブルですべてのクロックとデータを重畳して送るのに対して、Superlink では、データと、別の三つのクロック(Bit clock, L/R clock, Master clock)をそれぞれ分離して伝送します。 - **BMC DAC1 との接続においては、この Superlink 接続が可能です。**

これは、S/PDIF がバイフェーズ変調によって一本化されることによって強いられるジッターの悪化要因を起こさせない純度の高い伝送方式です。元来それは、CD プレーヤー内部で、レーザーピックアップが拾ったピット信号を復調する信号処理回路から DAC チップに受け渡す際の短距離のデータ形式とされていますが、BMC は独自の技術で外部インターフェースとすることを可能としています。一般的な S/PDIF が 4 つを 1 つにして送り、DAC 側で再び 4 つに分解するプロセスからも解放され、ロスの無い究極の再生品位

を獲得します。また、Superlink では、Master clock は接続した DAC1 から CD ドライブ側に送られ、完全同期が図られます。ここに、完璧な二者一元管理が確立され、ジッターを根絶した想像を絶するクオリティーが得られます。

強力電源を搭載

小型容量のハイスピードケミコンを多数並列接続した平滑回路を構成する大容量/高安定性を誇る電源回路を搭載することで、際立つドライバビリティーを達成しています。

CD トランスポートをプレーヤー化する DAC ユニット

BD1.1 トランスポートは、BDCD1.1 CD プレーヤー搭載の DAC と同一モジュールの追加アップグレードを可能としています。

DAC モジュールは、DAC チップの手前にクロックシンクサーキットが置かれ、マスタークロックに対してすべてのクロックとデータを完全同期させます。また、DAC チップには 24bit/192kHz 駆動の PCM1792 が二基使用され、その電流出力はフルバランス・ディスクリート I/V 回路に導かれます。そして、最終出力を司るバッファー回路には、BMC が誇る CI(Current Injection) 電流駆動テクノロジーと LEF(Load Effect Free)出力回路が採用され、負荷の影響を皆無とした比類なきドライバビリティーを実現しています。

BMC BDCD1.1

主な仕様

周波数特性: 20Hz - 20kHz: +0/-0.3dB(DF Flat), +0/-2.5dB(DF Pulse)

出力インピーダンス: 50

出力電圧: 4Vrms

THD+Noise@0dBFS: 0.006%

S/N: 115B

電源/消費電力: 100VAC/16-20W

最大外形寸法: 435Wx99Hx350D(mm)

重量: 8kg



DAC1 Balanced D/A Converter

[DAC1 HR / DAC1 PreHR]

アブソリュート・サウンド・エクスペリエンス

オプション・アナログプリアンプ機構を持つバランスD/Aコンバーター BMC DAC1

・Superlink を装備

デジタルインターフェースには、通常のS/PDIF 4系統に加えてSuperlinkを装備。BMCのCDトランスポートBD1.1、そしてCDプレーヤー、BDCD1.1とを最短距離で結びジッターを根絶。

・32倍/128倍スイッチャブル・オーバーサンプリング機能搭載。

・スイッチャブルSRCを装備：S/PDIF入力を96kHzにアップサンプリング。

・Flat / Pulse スwitchャブル・デジタルフィルタリング・キャラクター装備。

・24bit/192kHz DACチップ採用。

・1/V以降のアナログステージには、BMC独自のフィードバックフリーのフルバランスCI(カレント・インジェクション)I/V回路、如何なる負荷にも影響を受けないドライブ力を持つLEF(ロード・エフェクト・フリー)出力回路を採用しています。そして、この出力は、BMC電流入力パワーアンプS1への電流駆動による直接接続を可能とし、併せて、光リンクによるパワーアンプゲインのコントロール(DIGM)を可能としています。

・オプションとして、アナログプリアンプ・モジュールを搭載可能(非搭載モデル:DAC1 HR、搭載モデル:DAC1 PreHR)。プリアンプセクションにも同様のCI(カレント・インジェクション)I/V回路とLEF(ロード・エフェクト・フリー)出力回路を搭載。

・DAC1 HR、DAC1 PreHRは192kHz/24bit対応USB入力を装備。PCオーディオを最高レベルでお楽しみいただけます。

左手のアナログ入出力はオプションです (非搭載モデル:DAC1 HR、搭載モデル:DAC1 PreHR)。



BMC DAC 1

Balanced Digital / Analogue Converter



DAC1 variable in module

DAC1 DAC module

DAC1 decoder input module

DAC1 power supply module

Superlink

・通常の DAC に接続することのできる S/PDIF 形式のデジタル出力を 4 系統装備。(BNC-COAX,RCA-COAX,AES/EBU,Toslink)

・さらに、BMC が 90 年代後半に実用化した 4 本のデジタルケーブルで DAC と接続する Superlink インターフェースを装備。

S/PDIF が一本のケーブルですべてのクロックとデータを重畳して送るのに対して、Superlink では、データと、別の三つのクロック(Bit clock, L/R clock, Master clock)をそれぞれ分離して伝送します。- BMC BD1.1, BDCD1.1との接続においては、この Superlink 接続が可能です。

これは、S/PDIF がバイフェーズ変調によって一本化されることによって強いられるジッターの悪化要因を起させない純度の高い伝送方式です。元来それは、CD プレーヤー内部で、レーザーピックアップが拾ったビット信号を復調する信号処理回路から DAC チップに受け渡す際の短距離のデータ形式とされていますが、BMC は独自の技術で外部インターフェースとすることを可能としています。一般的な S/PDIF が 4 つを 1 つにして送り、DAC 側で再び 4 つに分解するプロセスからも解放され、ロスのない究極の再生品位を獲得します。また、Superlink では、Master clock は接続した DAC1 から CD ドライブ側に送られ、完全同期が図られます。ここに、完璧な二者一元管理が確立され、ジッターを根絶した想像を絶するクオリティーが得られます。

32 倍/128 倍スイッチャブル・オーバーサンプリング機能

デジタルフィルターのオーバーサンプリングを Low(32fs),High(128fs)の二通りに切替が可能です。ダイナミック感に富んだ Low ポジションと、スムーズな倍音を聴かせる High ポジションを、ソースによって選択することができます再生品位の幅を広げます。

スイッチャブル SRC

通常の S/PDIF 入力に対してサンプルレートを 96kHz にアップサンプリング。ソースにより、最適な再生音が得られます。(Superlink 接続時はこの機能はパスされます)

Flat / Pulse スwitchャブル・デジタルフィルター

周波数領域の直線性をフラットにする Flat ポジションと、時領域精度を高め、プリ/ポスト・リングングを抑え極めて自然なダイナミックレスポンスを得る Pulse ポジションの二通りのデジタルフィルターリング特性が選べます。

CI,LEF 構成の DAC アナログセクション

24bit/192kHz TI/BB PCM1792 DAC チップの高精度電流出力は、BMC 独自のフィードバックフリーのフルバランス CI(カレント・インジェクション)I/V 回路、如何なる負荷にも影響を受けないドライブ力を持つ LEF(ロード・エフェクト・フリー)出力回路を採用。通常のアンプへの接続はもちろん、BMC 電流入力パワーアンプへの直接的電流接続をも可能としています。

DIGM(ディスクリット・インテリジェント・ゲイン・マネージメント)機能

DIGM 電流入力対応の BMC パワーアンプを直接ゲインコントロールできる機能です。DAC1 のアナログ出力を BMC パワーアンプの CI 入力に接続することで電流駆動となり、同時に、DIGM コントロール光端子の相互接続によって、パワーアンプの DIGM 機能を起動。DAC1 の丸いノブがパワーアンプのゲインを可変させる所謂ボリュームコントロールローラーとなります。通常のアンプのようにアッテネート アンプリチュードといったプロセスを経ず、ソースレベルをそのままのレベルで送り増幅度を変えることでボリューム可変ができるため、プリアンプを不要とした鮮度の高いボリューム機能が実現します。ソース・エネルギーをロスさせることなく、また、ボリュームレベルに依らず低歪率、高 S/N を達成します。BMC の電流駆動システムとしての最大のメリットが遺憾なく発揮される優れた機能です。

アナログプリアンプ・モジュール(オプション)

追加装備できるプリアンプモジュール機構を採用。このセクションにも DAC アナログ回路と同様の CI(カレント・インジェクション)I/V 回路、LEF(ロード・エフェクト・フリー)出力回路を搭載しています。また、内部ジャンパーによって電圧出力/電流出力の切替が可能です。

強力電源

大容量トランスと大容量整流素子、そして、独自開発のハイスピード小型ケミコンを多数バラレル配備したアンプ並みの平滑キャパシター群。完全バランスを図った大容量電源の採用で、高い安定性とドライブ能力を獲得しています。

BMC DAC1 Pre HR

主な仕様

周波数特性: 20Hz - 20kHz: +0/-0.25dB(DF Flat), +0/-1.75dB(DF Pulse)

出力インピーダンス: 50

出力電圧: 4Vrms

THD+Noise@0dBFS: 0.006%

S/N: 110B

電源/消費電力: 100VAC/T6-20W

最大外形寸法: 435Wx91Hx350D(mm)

重量: 8.5kg



fully amplified

BMC AMP C1



BMC AMP C1 Balanced (Integrated) Amplifier

ショートシグナルパス・ゲインマネージメント・アンプ

C1 は、入力切替機能と、信号ロスを来たさないボリューム方式 DIGM ゲインマネージメントを搭載する所謂インテグレートッド・ステレオアンプです。

2系統のXLR、3系統のRCAの入力切替を装備し、CDプレーヤーなど一般的な電圧ソースとの組み合わせでの使用を可能とします。

内部構成は、入力ソースの電流変換ステージとファイナル出力ステージのみという常識を超えたショートシグナルパスを実現。フィードバックレスで低歪率と広帯域を達成する BMC 独自の回路コンセプトである LEF(ロード・エフェクト・フリー)パワーアンプ回路がそれを実現。

2kW もの大電力トランスを擁する強力電源によって、2 x 200W(@8Ω)、2 x 360W(@4Ω)のパワーを叩き出します。

入力切替、ボリューム調整などをリスニングポジションでコントロールできるアルミボディーのリモコン RC-1 が付属しています。



電源/消費電力: 100VAC, 50Hz-60Hz / 110W 800W



BMC AMP S1 Balanced Stereo Power Amplifier

CI ショートシグナルパス・ゲインマネージメント・ステレオパワーアンプ

S1の一大特徴は、BMC DAC1からの電流出力をダイレクトにパワーステージに送り込めるCI(カレント・インジェクション)入力機能です。DAC1との光リンクによって、S1は、搭載されたDIGMゲインマネージメント機能を起動させ、信号ロスを来たさないボリュームコントロールをDAC1から行なうことを可能とします。

また、別途、通常の電圧ソースにも対応するXLR、RCAをそれぞれ1系統装備。CDプレーヤーなど一般的な電圧ソースとの組み合わせでの使用も可能としています。

内部構成は、入力ソースの電流変換ステージとファイナル出力ステージのみという常識を超えたショートシグナルパスを実現。フィードバックレスで低歪率と広帯域を達成するBMC独自の回路コンセプトであるLEF(ロード・エフェクト・フリー)パワーアンプ回路がそれを実現。

2kWもの大電カトランスを擁する強力電源によって2 x 200W(@8 Ω)、2 x 360W(@4 Ω)のパワーを叩き出します。



電源/消費電力: 100VAC, 50Hz-60Hz / 110W 800W

the monopolist

BMC AMP M1



BMC AMP M1 Balanced Mono Power Amplifier

CI ショートシグナルパス・ゲインマネージメント・モノパワーアンプ

M1 は S1 をモノラル化したパワーアンプです。S1 と同様に、その一大特徴は、BMC DAC1 からの電流出力をダイレクトにパワーステージに送り込める CI (カレント・インジェクション) 入力機能です。DAC1 との光リンクによって、S1 は、搭載された DIGM ゲインマネージメント機能を起動させ、信号ロスを来たさないボリュームコントロールを DAC1 から行なうことを可能とします。

また、別途、通常の電圧ソースにも対応する XLR、RCA をそれぞれ 1 系統装備。CD プレーヤーなど一般的な電圧ソースとの組み合わせでの使用も可能としています。

内部構成は、入力ソースの電流変換ステージとファイナル出力ステージのみという常識を超えたショートシグナルパスを実現。フィードバックレスで低歪率と広帯域を達成する BMC 独自の回路コンセプトである LEF (ロード・エフェクト・フリー) パワーアンプ回路がそれを実現。

2kW もの大電力トランスを擁する強力電源によって 200W(@8)、380W(@4) のパワーを叩き出します。



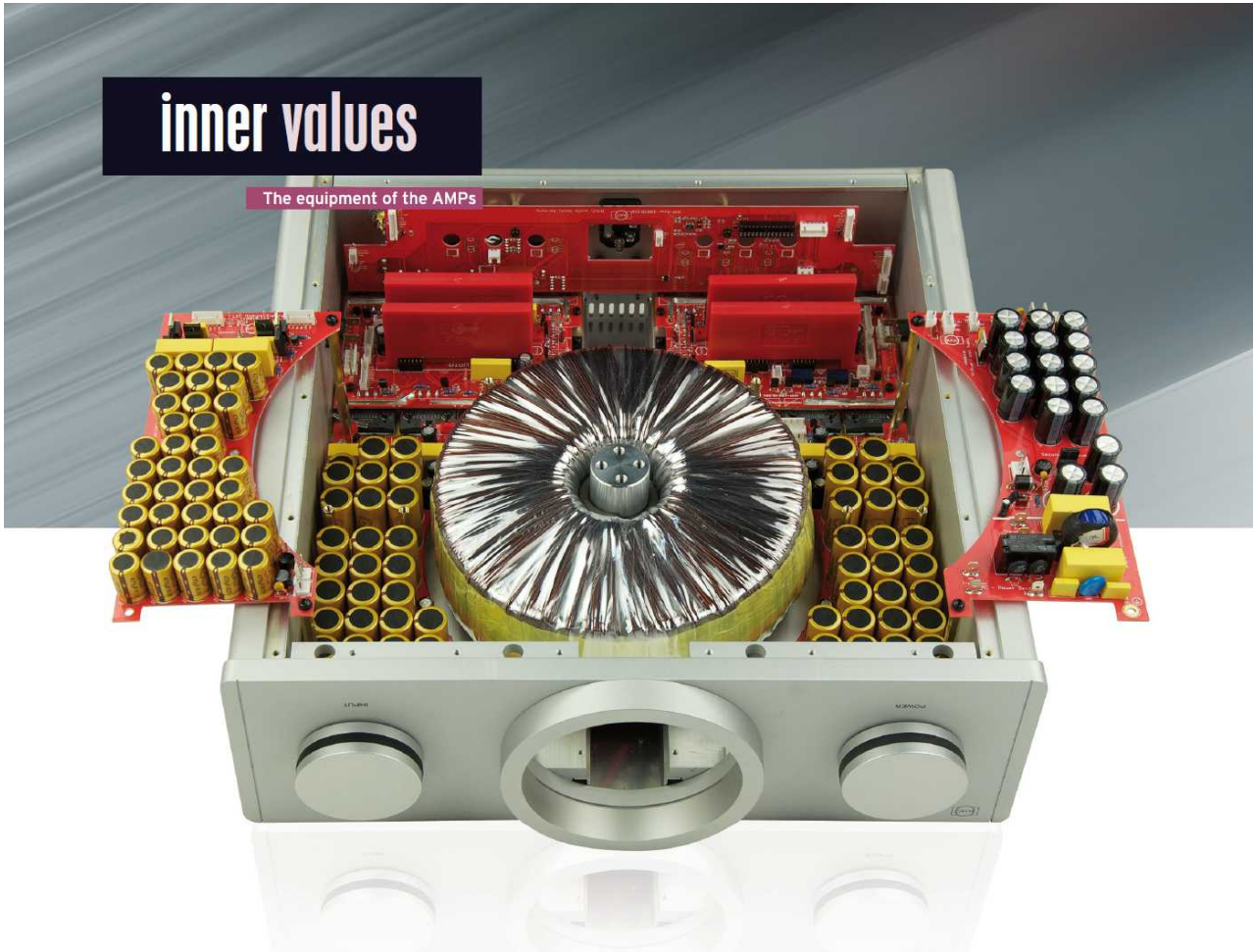
電源/消費電力: 100VAC, 50Hz-60Hz / 110W 800W



The BMC amplifier

inner values

The equipment of the AMPs



BMC 独自のアンプ技術とは

BMC のすべてのアナログ回路、とりわけアンプに搭載された、他と一線を画する優れた技術の核は LEF というパワーステージに秘められています。そして、この LEF によって、さらにその特質を生かす CI という電流駆動と、DIGM という信号ロスの無いゲインコントロールが可能となっています。

CI (カレント・インJECTION):

低入力インピーダンスによってソースの電流源は、ダイレクトにパワー増幅ステージに導かれ、負荷(スピーカー)を駆動する出力電圧/電流を生み出す最短距離の信号源となります。

DIGM (ディスクリート・インテリジェント・ゲイン・マネージメント):

一般のアンプのように「アッテネーター+増幅」回路構成ではなく、入力レベルはそのまま維持され、必要な出力に見合ったゲインとなるようにアンプの増幅度をコントロールする方式です。アッテネーターによる信号のロスと S/N の悪化、過度な増幅によるリニアリティと歪みの増加を根絶し、極めてナチュラルな再生品位を獲得します。

LEF (ロード・エフェクト・フリー):

LEF 出力ステージは、一般的なアンプのように出力段のトランジスタが信号に応じて生み出す電流/電圧をそのまま負荷(スピーカー)に掛けて駆動するのではなく、入力信号に応じて生み出される出力トランジスタの出力電圧とは別に負荷(スピーカー)を駆動する電流源が設けられます。出力信号トランジスタは、言わば負荷からのリアクションを受けない形(ロード・フリー)で理想的なアンプ動作をするわけで、それが LEF の名の由来となっています。

斬新なこの LEF 方式は、出力ステージ以外、一般的なアンプのようなドライバー段やそれ以前の増幅段を必要とせず、必要なパワーを取り出すことが可能です。入力信号は余分な増幅段を持たずに最短距離で出力段に導かれるため、一般的なアンプのような歪み補正のための NF(ネガティブ・フィードバック)を皆無とすることを可能とし、位相直線性の悪化などの NF の悪影響を根絶することが可能したのです。

そして、それは、CIとDIGMというアンプにおける理想的な環境をも提供しています。





measures & weights

Details

		L x H x D	weight in kg
Stereo Amplifier	AMP C1 	435 x 155 x 455 mm 17,13 x 6,1 x 17,91 inch	40
Stereo Power AMP	AMP S1 	435 x 155 x 455 mm 17,13 x 6,1 x 17,91 inch	40
Mono Power AMP	AMP M1 	435 x 155 x 455 mm 17,13 x 6,1 x 17,91 inch	40
CD-Beltdrive Player	BDCD1. 1 	435 x 100 x 360 mm 17,13 x 3,94 x 14,17 inch	8,0
CD-Beltdrive Transport	BD1. 1 	435 x 100 x 360 mm 17,13 x 3,94 x 14,17 inch	7,5
Digital-Analogue Converter with DIGM + PREAMP	DAC1 PRE HR 	435 x 100 x 360 mm 17,13 x 3,94 x 14,17 inch	8,6
Digital-Analogue Converter with DIGM	DAC1 HR 	435 x 100 x 360 mm 17,13 x 3,94 x 14,17 inch	8,0
Phono MC	MCC1 	435 x 100 x 360 mm 17,13 x 3,94 x 14,17 inch	6,8
BMC - Aluminium - Remote Control (suitable for AMP C1, BDCD1, BD1, DAC1 PRE, DAC1)	RC1 	240x 60 x 20mm 9,45 x 2,36 x 0,79 inch	



B.M.C. AUDIO GmbH Erlenfeldweg 39, 34123 Kassel ,Germany

[カンパニー・インフォメーション --- B.M.C.とは]

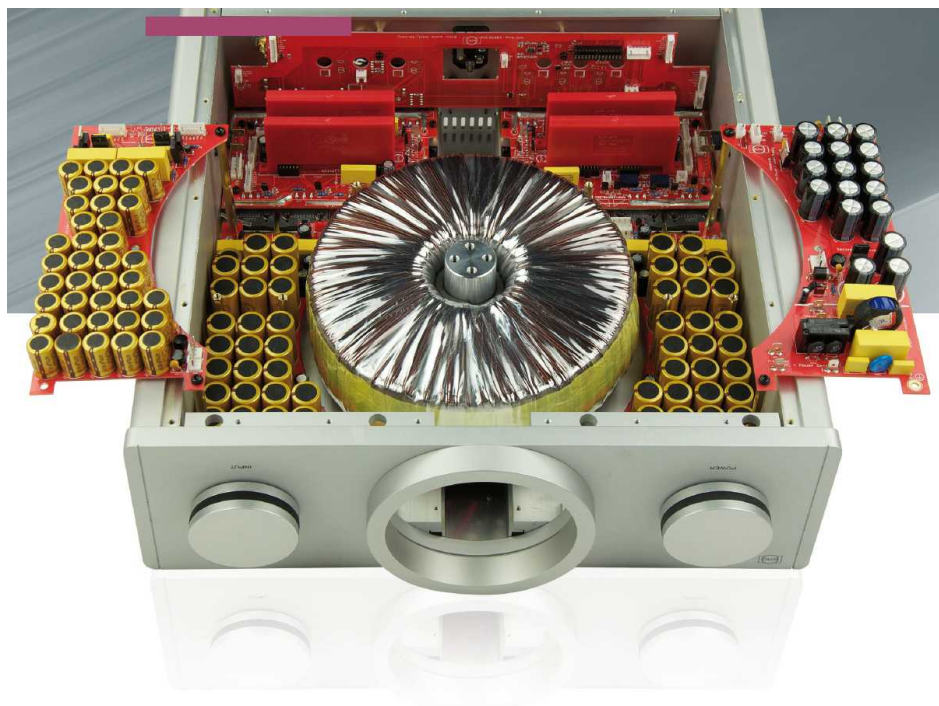
B.M.C.はオーナーでありエンジニアリング・デザイナーである Mr. Carlos Candeias が 2009 年に興したドイツの新進ハイエンドオーディオブランドです。

しかし、そのバックボーンは古く、彼がベルリンの技術大学でエレクトロニック・エンジニアリングを専攻中の 1986 年にすでに Candeias Audio Electronics という会社を立ち上げ、独自の CD プレーヤーやアンプ、スピーカーの開発に着手します。

その後、90 年代半ばからは、現在の B.M.C. のテクノロジーを特徴付ける Superlink や LEF アンプデザインなどの独自開発を進める一方で、他のオーディオ機器メーカーに対するパーツ、アセンブリーの供給、技術供与などの OEM 活動に積極的に携わります。

そうした中、2001 年には、ハイエンドオーディオ機器のよりリーズナブルな製造効率と発展を求めて、自らスタッフとともに中国に常駐して、新たに Candeias Electronics Co., Ltd. を興します。そこでは、パーツ自体のオリジナル製造から回路基板、機構まで、設計開発、製造のすべてを自身の厳しい目とノウハウで一括管理を徹底させ、よりクォリティーの高い製造技術を培います。

同時に、OEM のみならず、2000 年代半ばからは、特にアンプ設計における革新的な技術の確立に勤めます。それまでの LEF(ロード・エフェクト・フリー)に加えて、インテリジェント・ゲイン・マネージメント(DIGM)、カレント・インジェクション(CI)など、ユニークかつ本質的なサーキット・テクノロジーが次々と生み出されるのです。B.M.C. オーディオ機器には、そうした技術の数々がふんだんに盛り込まれています。



B.M.C.オーナー/エンジニアリングデザイナーMr.Carlos Candeias
[オーディオ機器・回路テクノロジー 開発の足跡]

1984

The first CD player digital / analogue converter upgrade system, which vastly improved the sound quality. By the time upgrades for lots of models were available and also copied by other companies.

1990

First passive bipolar speaker with active correction.

1994

First digital / analogue converter using digitally balanced 8 channel parallel DAC technology with the first (and only) current output bit-stream DAC.

1995

Introduction the CHAMP-amplifier technology, avoiding dynamical feedback delay problems in operational amplifiers.

1996

First CD player application using the CHAMP amplifier technology.

1997

Superlink lowest loss digital linking.

1999

Introduction of CC68 CC-Tech's first universal use CHAMP module.

2000

The LEF amplifier technology re-defines amplifier sound quality.

2002

*First low power universal use LEF amplifier module CC70.
Acoustone material for speaker enclosures and unit bases.
LEF headphone amplifier.*

2003

*Self adjusting LEF amplifier.
Intelligent gain management (IGM) replacing volume control losses by quality improvement.
Current Injection technology (CI) shortening the signal path and improving measurement specifications on non-feedback amplifiers dramatically.*

2004

*Digitally controlled IGM achieving the highest precision ever done in volume control.
Analogue / Digital converter with LEF amplifier modules.
LEF Microphone amplifier.
LEF / CI phono amplifier.
LEF / CI DAC with USB*

2005

*DIGM with class A switches and intelligent gain distribution.
Constant temperature Amplifier
Ultra low noise, AC power quality insensitive electronic power supply.
Digital / Analogue Power Amplifier (DAPC) combining LEF, CI, DIGM and digital technology to a new sound standard.
Energy efficient LEF amplifier.*




The Sound of Nature



www.bmc-audio.com

B.M.C. AUDIO GmbH • Erlenfeldweg 39A • 34123 Kassel Germany • Tel. +49 (0) 561 - 47 39 81 50 • Fax +49 (0) 561 - 47 39 81 59
info@bmc-audio.de

AXISS

輸入発売元:アクシス株式会社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2 - 34 - 27 TEL:03-5410-0071 www.axiss.co.jp

©2011.10